

# 家畜保健衛生所情報

令和3年8月12日

## 台風・大雨等の自然災害に備えましょう

例年、台風の時期には各地で大雨や河川の増水、土砂崩れ等により多くの被害が報告されています。これからの時期、台風や局地的な大雨により、冠水や道路の寸断等、畜産経営に影響の出る被害が起きるかもしれません。今後も自然災害発生のリスクがあることから、日頃から下記の実施に努めてください。

### 事前の対策について

- (1) 府や市町村が公表している防災ハザードマップを確認し、どのような災害にありうる可能性があるか予め把握してください。
- (2) 避難先や避難経路を予め検討してください。また、被災時の緊急連絡先（役場、農協、家保など）を確認してください。
- (3) 停電や浸水に備え、発電機や排水ポンプ等の準備に努めてください。
- (4) 飼料や燃料は、少なくとも1週間以上家畜を飼養するために必要な量を在庫として持つように努めてください。また、飲水についても貯留タンクの設置やくみ上げポンプなどの準備に努めてください。

### 被害拡大防止のための対策について

- (1) 市町村などから避難勧告が出された場合には、人命を守るための行動を最優先してください。
- (2) 避難までに時間的余裕がある場合には、しばらく飼養管理ができない可能性を考えた対応・対策を講じてください。
- (3) 機械への通電を再開する際には、漏電やショートに留意し、気をつけて作業をしてください。
- (4) 道路の寸断等により車両による飼料の搬入が困難な状況が長期化すると想定される場合には、家畜の生命維持を優先に、飼養管理を変更してください。また、避難先候補地への家畜の移動も検討してください。

# 暑熱対策に取り組みましょう

今年も暑い夏がやってきました。暑さは家畜の生産性が低下する原因となります。できる暑熱対策を追加して、家畜が健康で快適に過ごせる環境づくりを心がけましょう。

## 畜舎環境面から

### ★畜舎内での対策

- (1) 換気扇や扇風機による畜体等への送風や散水、散霧
- (2) 飼育密度の緩和

### ★畜舎外での対策

- (1) 寒冷紗、よしずによる日除け
- (2) 屋根裏・壁・床への断熱材の設置  
屋根への消石灰の塗布
- (3) 飼育密度の緩和



## 飼養管理面から

- (1) 良質で消化率の高い飼料給与
- (2) ビタミンやミネラルの追給
- (3) 清浄で冷たい水の給与

### 家畜が暑さを感じる温度



約 19℃



約 22℃



約 26℃

なお、詳しい情報は下記ホームページについてもご確認ください。

農林水産省：

[https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/l\\_tiku\\_manage/](https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/l_tiku_manage/)



\*\*\*\*\*

本情報に関するお問い合わせは

大阪府家畜保健衛生所

〒598-0048 泉佐野市りんくう往来北 1-59

TEL：072-458-1151 FAX：072-458-1152